

Ledya Home Doctor

レディアホームドクター

Q & A

最近、下肢静脈瘤をレーザーで治せると聞きました。どんな治療ですか？

下肢静脈瘤といえば、脚の静脈がコブのように膨れ、クネクネと蛇行した状態を思い浮かべるでしょう。これは静脈の弁が壊れて血液が心臓まで戻れなくなった状態で一種の「循環不全」です。日本は手術が中心ですが、欧米ではより低侵襲で安全な治療への取り組みが盛んで、手術以外に血管内治療（レーザー治療、ラジオ波治療、泡状硬化療法）が多く行われています。

レーザー治療は、レーザー光が吸収される時に生じる熱を利用した治療法です。血液が逆流している静脈の中に直径0.6mmの光ファイバーを針を刺して挿入し、局所麻酔薬を注射します。後はファイバーを引き抜きながらレーザー光を発射し必要な範囲を治療します。12Wで照射した場合の正味の治療時間は30cmで2分30秒です。最近登場した波長1470nmの半導体レーザーは治療後の痛みや皮下出血が少なく、より低侵襲で安全といえるでしょう。また、皮膚の毛細血管拡張の場合には、体表からロングパルスレーザーの照射が効果的です。ただし、黄色人種では皮膚のメラニン色素に多くのレーザー光が吸収され“強い日焼け”のような状態になることがあるので、事前に十分なチェックが必要です。レーザー治療は保険診療が認められていない専門的な治療法（自費）です。経験の多い医療機関で十分に納得して治療を受ける必要があります。



回答医師

諸國 眞太郎 先生

医療法人社団操仁会理事長。岡山第一病院 下肢静脈瘤日帰りセンター長(1)。諸國眞太郎クリニック院長(2)。1981年岡山大学医学部卒業。末梢動脈疾患、下肢静脈瘤など血管外科に携わる。

(1) 岡山市高屋343 TEL 086-272-4088

(2) 岡山市錦町11-17 OWLSTYLE錦町2 4階
TEL 086-224-1313

URL <http://www.varix.jp> E-mail laser@varix.jp